

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2011年11月定例会議議事録

◎ 開催期日：2011年11月16日（水） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	本永	清祐
☆STRAS	水中活動研究所有限公司	岡本	康男
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

- ① 震災・津波のその後の影響について
 - 震災後の影響について、出席者全員から説明があった
 - 震災直後は、認定においてかなりのダメージを受けたが、シーズン突入後若干の回復を見せている点が、各社共通の認識であった
 - また、具体的戦略をもって対処した店は落ち込みが少なく、震災を理由に対策をとらなかった店は、落ち込みが顕著であった点も共通した認識であった
- ② 本年C協活動報告および来期活動予定について
 - 事務局より2011年1月～10月までの活動報告がなされた
 - 当年の実績をもとに次期活動も計画していく事で意見が一致した
 - 次回定例会までに、次期活動の提案を各社準備する予定が組まれた
- ③ C協WEBアクセス解析について
 - 事務局より、C協のWEB解析結果について、報告が合った
 - ページビュー、訪問数、ヒット数のすべてに於いて前年を下回る結果であった
 - 検索ワードからは、2010年は一般消費者がダイビングビジネスへの不信感をもとに検索した結果、C協HPにたどり着いてる様子が伺えた。これに対し、当年は専門用語からの検索が目立つ事から、業界内からの検索が多かったと推察
 - C協のHPを有効活用するために、各社のリンクをさらに目立つよう工夫するよう提案があり、参加者全員が承諾した
 - 今後の提案として、業界内用のサイトと一般消費者用のサイトの両方を仕分けしたWEB作成を検討する事になった

以上